

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2 練習について

- (1) 練習会場および競技場では逆走、チューブや牽引ロープ等を使った練習は危険防止のため禁止とする。
- (2) メイン競技場での練習は、バックストレートもホームストレートと同じ向きとする。
- (3) 走路の使用は原則として以下の通りとする。状況により変更がある場合は競技役員の指示に従うこと。

◎メイン競技場（バックストレート） ◆グランプリ・パラ・一般高校

※4×100mR予選時のウォーミングアップは、補助競技場及びバックストレート外側の雨天練習場を使用する

◎補助競技場

◆小学生・中学生・一般高校生

リレー練習では第4コーナー付近を特に注意すること

◎雨天練習場

◆1～3レーン：ハードル

◆4～6レーン：走練習

※雨天の場合は競技役員の指示に従うこと。

## 3 招集について

### (1) 招集所について

- ア GP男女、パラ、一般高校については本競技場の水壕付近に設ける。
- イ 小・中学生の種目は100mスタート後ろの防風ゲート外に設ける。

### (2) 招集完了時刻について

すべての種目について競技開始20分前に招集完了とする。

### (3) 招集の方法について

- ア 小中学生の競技者は、招集完了時刻5分前までに招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・商標等の点検を受ける。(腰ナンバーカードを受け取り出発までに付ける。)
- イ GP、パラ、一般高校の競技者は、水壕付近に設置してあるスタートリストの自分の番号に○をつける。その際腰ナンバーカードを受け取り出発までに付ける。その後はレース直前まで各自調整をしても構わない。
- ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は欠場とみなして処理する。
- エ 欠場する競技者は、招集完了時刻までに所定の欠場届（招集所に準備）を競技者係に提出すること。
- オ アスリートビブスは所定の大きさのまま胸・背部両面に確実に付けること。

## 4 競技の抽選及び番組編成について（レーン順）

- (1) 競技におけるレーン順はプログラム記載順序による。ただし、決勝及び第2レースの組み合わせ、レーン順は主催者が公平に決める。
- (2) 決勝及び第2レースへの進出者を決める場合、その最下位で同タイム者（チーム）（以下「同タイム者（チーム）」）が出たときは、次の方法で決定する。
  - ア レーンの余裕の範囲内で次のラウンドに進むことができる。
  - イ レーンに余裕がない場合は、判定写真を拡大し、細部まで読み取り着差の判定をする。それでも決定できない場合は、同タイム者（チーム）またはその代理人によって抽選する。(TR21)

- (3) 第2レースの出場権を得たがやむを得ない事情で欠場する場合は、すみやかに大会本部に申し出ること。次点の者を繰り上げる場合がある。

## 5 競技について

- (1) スタートの合図は英語（イングリッシュ・コマンド）で行う。
- (2) 不正スタートは1回で失格とする。ただし、小学生については不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- (3) 競技は全て写真判定装置を使う。
- (4) 競技者は安全確保のためにフィニッシュライン通過後も自分に割当てられたレーン（曲走路）に従って走ること。
- (5) リレー競技に使用するマーカーは主催者が準備し、1人1カ所に限り使用することができる。マーカーは、そのチームの前走者が取り除くこと。
- (6) リレーのオーダー用紙は招集所で受け取り「各ラウンドの招集完了時刻の1時間前」までに、招集所に提出すること。決勝においても同様にオーダー用紙を提出すること。
- (7) スパイクピンは11本以内で長さ9mm以下とする。
- (8) 小学生100mの予選はスターティングブロックを使用しない。第2レースは使用を認める。

## 6 表彰について

- (1) GP決勝後、その場で優勝者には賞金、3位までに記念品を贈る。
- (2) 小学生リレーの優勝チームに記念品と賞状を贈る。8位までに賞状を贈る。（表彰式は行わない）
- (3) 表彰の服装については競技用のユニフォームは禁止とする。

## 7 個人情報取り扱いについて

- (1) 主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づいて個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成会議及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 本大会はインターネット上で動画配信を行う。
- (3) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、日本陸連及び日本陸連が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料・グッズ制作・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (4) 出場競技者の名前及び所属をプログラム及び新聞等に記載する。

## 8 その他

- (1) 当日はADカードによる規制を行うため、立ち入りが制限されるエリアがある。
- (2) 声を出しての応援は禁止する。また、競技の妨げとなる応援も禁止する。
- (3) 横断幕はスタンド最背面の設置のみ許可する。
- (4) 100m・110mH・100mHの競技者は、フィニッシュ後競技役員の指示でスタート地点へ帰る。
- (5) 商標等の規則については「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は、陸上競技場第2研修室内記録係に500円を添えて申し込むこと。
- (7) 本大会出場時の発病・負傷については応急処置を行うが、以後の責任は負わない。
- (8) 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。

## 9 競技用シューズについて

(1) 競技者が使用するシューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）については WA テクニカルルール TR5 を適用する。

【 日本陸上競技連盟 HP 】 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>

(2) 靴底厚計測は招集所にて当日実施する。事前に下記より WA 承認シューズリストを確認すること。

【 WA 承認シューズリスト 】 [https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202008/15\\_102058.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202008/15_102058.pdf)

※出場種目欄に『YES』と記載のモデルのみ使用することができる